

## 令和6年度宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業「リ・トライ！」

### 第3回プログラム実施報告書

1. 開催日時： 2024年8月3日（土） 14:00～16:00
2. プログラム： 金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」
3. 参加者： 受講者：7名、講師：1名（Zoom オンライン）、スタッフ：3名、オブザーバー：1名
4. プログラムの主な内容
  - ① 講師自己紹介、アイスブレイク、趣旨説明  
コンビニのロゴ当てクイズでアイスブレイクし、プログラムをスタート。  
今回のテーマは、「お金と仕事 - 自立後の生活を考える -」。
  - ② 一人暮らしワーク  
生活コスト予想シートを使い、一人暮らしをしながら働いている自分の生活コストを、ヒントシートを参考にしながら予想するワークを実施。その後、一人暮らしの相場金額の解説を聞いて、自分の予想シートに書き込むことで、相場との差異の大小を感じてもらった。
  - ③ 稼ぎ方・働き方ワーク  
稼ぎ方・働き方カードを各自引いてもらい、「月給制・正社員」、「日給制・派遣社員」、「時給制・フリーター」のいずれかを決める。さらに月収カードで収入を決めて、一日の時間の充て方を含めた生活スタイルがどのように変わるのかシミュレーションを体験した。その中で、日給制や時給制で月収100万円を得ることは事実上不可能で、働ける時間には限りがあることを実感してもらった。  
また、それぞれの働き方を4つの視点で評価した特徴を解説してもらい、自分に合うスタイルについて考えてもらった。
  - ④ 暮らし方ワーク  
暮らし方カードで、家族構成や住居など異なる環境を稼ぎ方・働き方ワークに加え、シミュレーション結果について感想を書いてもらい、グループ内で発表・共有した。
  - ⑤ ふりかえりシートの記入と全体共有、及びアンケート記入  
プログラムの最後として、ふりかえりシートを用いてプログラム全体の感想を書いてもらい、全体発表で共有した。プログラム終了後、MoneyConnection®アンケートとプログラム受講後アンケートの2種類に記入してもらった。
5. 参加者の感想  
**<MoneyConnection®ふりかえりシート>**  
プログラムで印象に残ったこと、新しく知ったこと
  - ① 生活に必要な必要経費の相場を聞き、改めて実感させられた。
  - ② 1人暮らしに掛かるお金と税金が分からない所がとても多かったので今後参考にしていきたい。
  - ③ お金を稼ぐには簡単なようでそうではないということ。
  - ④ 国民年金や国民健康保険がこんなに高いとは思わなかった。
  - ⑤ 収入、出費などを考えながら生活しないと、自分の生活が大変な事になりそうな気がしたので、今後のお金の使い方をもう少し見直したいと思う。

## 感想、講師へのメッセージ

- ① 改めて、生活再建のための金銭面について考える機会が得られたことに感謝します。
- ② これから安定した生活を送っていく為には、今回の講習で学んだお金の使い方、生活に必要な時間を見て実践してみたい。
- ③ フリーターで30万円を稼いでも思っていたより仕事以外の時間があることにおどろいた。
- ④ カードを引いて暮らしをシミュレーション出来たのが面白かった。お金と自分の時間のバランスにどう折り合いをつけていくかが今後の課題になりそう。本日は有難うございました。
- ⑤ 今まで少しお金の使い方が悪かったので考えて使う様にし、できるだけ貯金をしたいと思う。
- ⑥ お金のことをわかりやすく話をしてくれて勉強になりました。

### <MoneyConnection®アンケート>

- ① 月収20万円だと貯金が殆ど出来ないの、資格を取る等して、月収を上げたいと思った。
- ② 少しでも貯金をしたいと考えた。また出費をもう少しおさえる努力をしようと思う。
- ③ 講座を受けて、生活にかかる費用がわかってよかった。
- ④ 安定した仕事(正社員)を目指さなくてはいけないと改めて実感した。
- ⑤ 自分のどうしてもお金があれば使ってしまう所や、自分のやりたい仕事に対しての方向が強くなりました。
- ⑥ 以前からどういう事をしたいかは、明確にあったので考えに関してはそこまで変化はありません。

### <リ・トライ！プログラム受講後アンケート>

- ① お金の使い方などをまじめに考える事が大切だと気付いた。
- ② 税金や収支に関してのことはとても役に立つと思いました。
- ③ 細かい所でのお金がかかってしまう仕組みなどを知れた。
- ④ (自身が成長したと感ぜられる点や、今後の仕事や生活に役立つと思うことは?)生活費について
- ⑤ 金銭面から見る生活スタイルがイメージしやすかった。
- ⑥ 具体的な生活コストを知れたので、まずはその枠に収まるように生活をしてみたい。それから削れるところは削って、貯蓄に充てたい。

終始楽しく受講ができた。今後も欠かさず参加したい。本日は、有難うございました。

## 6. 全体を通して

今回はワークショップ形式での講座で、ワークシートやふりかえりシートに加え、2種類の受講後アンケートがあり、多くのワークを実施してもらった。また、グループ内共有やふりかえりの全体共有で受講者全員が発表する機会があり、各々の考えをきくことで自分との違いを感じることができたのでは、と思う。

カードとシートを使ったワーク中は特に、自由に発言が飛び交う雰囲気、とても良い居場所・空間だった、と感じました。

以上